埋蔵文化財保護行政に関わる職員の採用動向に関するアンケート

　※回答は自由記述も含め、回答欄にご記入ください。長くなってもかまいません。

１　回答者全員にお伺いします。あなたの年齢についてお答えください。

ア　20代　　　イ　30代　　　ウ　40代　　　エ　50代　　　オ　60代

カ　その他（　　　　　　）

回答欄〔　　　　　　〕

２　回答者全員にお伺いします。あなたの職場の所在地はどこですか。

ア　北海道・東北　　イ　東京を除く関東　　ウ　東京都　　エ　中部　　オ　近畿

カ　中国・四国　　キ　九州・沖縄　　　ク　その他（　　　　　　　）

回答欄〔　　　　　　〕

３　回答者全員にお伺いします。あなたの職場は次のどれに該当しますか。【　】内も選択してください。

ア　行政機関　【　a：国　b：都道府県　c：区市町村　】

イ　発掘等調査機関（民間を除く）

　　【　a：国　b：都道府県公立　c：都道府県法人等　d：区市町村公立　e： 区市町村法人等

f：大学構内調査機関　　g：その他（　　　　　）　】

ウ　資料館・博物館等（運営主体でお答えください）

　　【　a：国（博物館機構含む）　b：都道府県直営　c：都道府県法人等　d：区市町村直営

　　　　e：区市町村法人等　　f：私立博物館等　　g：民間指定管理組織　　h：その他（　　　　　　）　】

エ　民間　【　a：調査機関　b：支援機関　c：その他（　　　　　　）　】

オ　その他（　　　　　　）

回答欄〔　　　　　　〕

《上記設問３でア・イを選択された方にお伺いします。》

　①　あなたの担当業務は次のどれですか（複数選択可）。

　　ア　埋蔵文化財の発掘調査

　　イ　埋蔵文化財の発掘調査に係る調整等

　　ウ　文化財行政一般（史跡・名勝天然記念物等）

　　エ　伝統的建造物群、文化的景観、史跡整備などを通じた町づくり

　　オ　文化財等の普及啓発事業

　　カ　社会教育・学校教育等

　　キ　その他（　　　　　　）

回答欄〔　　　　　　〕

《上記設問３でア・イを選択された方にお伺いします。》

　②　過去10年程度の間に（あるいは着任してから）、あなたの職場全体では発掘調査業務と公開活用業務の業務量はどのように変化しましたか。

　　ア　発掘調査業務量・公開活用業務量ともに増加している

　　イ　発掘調査業務量が減少し、公開活用業務量が増加している

　　ウ　発掘調査業務量が増加し、公開活用業務量が減少している

　　エ　発掘調査業務量・公開活用業務量ともに減少している

　　オ　あまり変化はない

　　カ　その他（　　　　　　）

回答欄〔　　　　　　〕

《上記設問３でア・イを選択された方にお伺いします。》

　③　あなたの職場では、民間発掘調査機関を導入していますか。

　　ア　はい　　　イ　いいえ　　ウ　その他（　　　　　　）

回答欄〔　　　　　　〕

《上記設問３-②でアを選択された方にお伺いします。》

　○　民間発掘調査機関の導入により、職場環境はどうなりましたか

　　ア　良くなった　　イ　かわらない　　ウ　悪くなった　　エ　その他（　　　　　　）

回答欄〔　　　　　　〕

　　　　　　　　（可能ならば回答欄に状況を具体的にご記入ください。）

《上記設問３でウを選択された方にお伺いします。》

　④　あなたの担当業務は次のどれですか（複数選択可）。

　　ア　考古　　イ　歴史　　　ウ　民俗　　エ　その他（　　　　　　）

回答欄〔　　　　　　〕

《上記設問３でア～ウを選択された方にお伺いします。》

　⑤　あなたの業務について、５年前に比べて、遺跡の発掘調査業務以外の、埋蔵文化財や考古資料にかかる分担業務（埋蔵文化財等を活用した町づくりを含む）の占める割合の変化を教えてください。

　　ア　増加傾向にある　　イ　変化はない　　ウ　減少傾向にある　　エ　わからない

　　オ　その他（　　　　　　）

回答欄〔　　　　　　〕

《上記設問３でエを選択された方にお伺いします。》

　⑥　あなたの職場の埋蔵文化財等（埋蔵文化財を活用したまちづくりを含む）にかかる過去５年間の仕事量の変化について、教えてください。

　　ア　増加傾向にある　　イ　変化はない　ウ　減少傾向にある　　エ　その他（　　　　　）

回答欄〔　　　　　　〕

《回答者全員にお伺いします。》

　⑦　あなたの職場での正規職員（埋蔵文化財専門職員等）の補充（新規採用）はどのようですか。

　　ア　正規職員の採用試験を実施（予定）　　　　　イ　補充されない

　　ウ　非正規職員（再雇用含む）を採用（予定）　　エ　わからない

　　オ　その他（　　　　　　）

回答欄〔　　　　　　〕

４　回答者全員にお伺いします。あなたの職場で、過去５年間に退職された正規職員（埋蔵文化財担当職員・考古資料担当職員等）はおられますか。

ア　はい　　イ　いいえ　　ウ　わからない　　エ　その他（　　　　　　）

回答欄〔　　　　　　〕

《上記設問４でアを選択された方にお伺いします。》

　○　正規職員は補充（新規採用）されましたか

　　ア　はい　　　イ　補充される予定　　ウ　非正規職員（再雇用含む）が採用された

　　エ　いいえ　　オ　その他（　　　　　　）

回答欄〔　　　　　　〕

５　回答者全員にお伺いします。あなたの職場で、ここ１、２年以内に退職予定の正規職員の技術職員（埋蔵文化財担当職員等）はおられますか。

ア　はい　　イ　いいえ　　ウ　わからない　　エ　その他（　　　　　　）

回答欄〔　　　　　　〕

《上記設問５でアを選択された方にお伺いします。》

　○　職員の補充（新規採用）予定はいずれですか。

　　ア　既に採用を行った　　イ　今年度採用試験を実施（予定）　　ウ　補充されない

　　エ　わからない　　オ　その他（　　　　　　）

回答欄〔　　　　　　〕

６　つぎの①～⑤は回答者全員にお伺いします。あなた個人が現在の職場に採用されることが望ましいと考えるのはどのような人物ですか。該当するものに○をつけてください（複数回答可・（　）内は具体的に記載してください）。

　①　発掘調査・報告の経験の程度について

ア　発掘調査に参加経験がある　イ　発掘調査・報告書作成ができる　ウ　経験は問わない

エ　その他（　　　　　　）

回答欄〔　　　　　　〕

　②　研究活動に対する意欲について

ア　研究意欲がある　　イ　研究意欲はなくてもよい　　ウ　研究意欲は不要

エ　その他（　　　　　　）

回答欄〔　　　　　　〕

　③　学位・資格等について

ア　学士の学位（四年制大学卒）を有している　　イ　修士の学位を有している

ウ　博士の学位を有している　　エ　博物館学芸員の資格を有している

オ　考古調査士もしくは埋蔵文化財調査士の資格を有している

カ　日本考古学協会会員である

キ　その他の資格等を有している（　　　　　　）

ク　学位(学士以上)や資格の有無は問わない

回答欄〔　　　　　　〕

　④　大学あるいは大学院で学んでいる場合、その分野の専攻について

ア　考古学で特定の分野を専攻している　　イ　歴史系の学科・専攻の出身であればよい

ウ　どのような専門分野の出身でもかまわない　　エ　その他（　　　　　　）

回答欄〔　　　　　　〕

　⑤　職歴について

ア　新卒者　　イ　嘱託職員の経験者　　ウ　他の組織の正規職員からの転職者

エ　職歴は問わない　　オ　その他（　　　　　　）

回答欄〔　　　　　　〕

７　回答者全員にお伺いします。埋蔵文化財に関連する専門職員の養成に関して、あなたが大学に期待することは何ですか。

ア　大学における実習教育を充実させてほしい

イ　調査組織とのインターンシップ制度を充実させてほしい

ウ　埋蔵文化財保護行政の基礎を学ばせてほしい

エ　大学には特に期待していない

オ　その他（　　　　　　）

回答欄〔　　　　　　〕

* ご協力ありがとうございました。

ご回答結果につきましては、集計・分析の上、日本考古学協会総会、大会の際のポスターセッションその他にて発表させていただきます。